

令和3年度 大阪大学工学部新入生保護者説明会

工学部新入生の保護者を対象にした、令和3年度「新入生保護者説明会」を、4月10日（土）にオンラインにて開催しました。

説明会の動画をYouTubeにアップロードしましたので、改めてご視聴いただくことも可能です。また、説明会当日に時間的制約から頂いたご質問に回答できなかったものを、下記に回答します。

ユーチューブ URL : <https://youtu.be/vIDxra2yBpA>

※「YouTube 動画」については令和3年4月10日に撮影したものです。

○質問一覧

- [【Q1】 3年生になると下宿になると聞いていますが、実情を教えてください。](#)
- [【Q2】 豊中キャンパスとの行き来はどのくらいかかりますか？](#)
- [【Q3】 コース分属は成績順で決定されると思いますが、希望するコースが選択できない場合は留年などにより再チャレンジすることはできますか？](#)
- [【Q4】 授業の欠席の連絡はどのような手続きになりますか？](#)
- [【Q5】 留年の判定はいつ頃わかりますか？また、留年は毎年多いのでしょうか？](#)
- [【Q6】 飛び級の条件はどういったものですか？その場合、卒業研究に当たるものはありますか？](#)
- [【Q7】 飛び級で大学院に進学する学生はどの程度いますか？優秀な学生が制度を利用すると思いますが、優秀な学生の定義について教えてください。](#)
- [【Q8】 留年と飛び級はどれくらいいるのでしょうか？](#)
- [【Q9】 留学の資料を、親元に送っていただくのは可能ですか？](#)
- [【Q10】 留学を希望しています。大学内の相談窓口に行くとおもうのですが、親として留学のアドバイスや留学費用、大学の研究に差し障りがないのか等、サポートしたいと思います。大学の留学事情（コロナ禍での）等をお聞かせ下さい。](#)
- [【Q11】 成績表は親に通知されますか？](#)
- [【Q12】 教職課程を履修しようと考えていますが、修士課程の進学も考えています。両立させるのは困難でしょうか？](#)

【Q13】 講義室で授業をしていると聞きました。講義室で授業を実施する理由を教えてください。

【Q14】 基本対面授業とのことですが、今後新型コロナウイルス感染症が改善すれば対面授業を増やす方針でしょうか？

【Q15】 基本対面授業とのことですが、1限が対面授業で、2限がメディア授業の場合、アクセスポイントとして開放されている講義室はありますか？

【Q16】 新型コロナウイルス感染症に感染した場合、また濃厚接触者となった場合、授業を後から視聴、又は補講はありますか？

【Q17】 応用理工学科の春夏学期の火曜日の必修授業で2限目情報科学、3限目統計学、4限目図学講義、5限目応用理工序論の実施場所が吹田キャンパスとなっていますが、どうして豊中キャンパスで実施できないのでしょうか？

【Q18】 講義室に学生が集って、先生だけ別室からオンライン講義が開催されています。違和感を感じます。今後の改善を期待します。

○ご質問と回答：

【Q1】 3年生になると下宿になると聞いていますが、実情を教えてください。

【A1】 学科にもよりますが、3年生になると、実験や実習の授業が増え、自宅外に部屋を借りて通学する学生も増えますが、自宅から通学する学生もたくさんいます。
工学部3,4年生のうちおよそ6割がキャンパス近辺（箕面市、豊中市、吹田市、池田市、茨木市）に居住しています。所属する学科、研究室により実情が異なりますが、4割程度はキャンパス近辺以外から通学しています。

【Q2】 豊中キャンパスとの行き来はどのくらいかかりますか？

【A2】 豊中キャンパス-吹田キャンパス間は、大学が無料の連絡バスを授業期間中に運行しており、約30分で移動できます。

【Q3】 コース分属は成績順で決定されると思いますが、希望するコースが選択できない場合は留年などにより再チャレンジすることはできますか？

【A3】 成績等の分属の条件を満たした場合は、必ず分属となります。一度決定したコースを変更することはできません。分属の条件や時期等については、クラス担任の先生へお問合せください。

【Q4】 授業の欠席の連絡はどのような手続きになりますか？

【A4】 学生から直接担当教員へ連絡した上で、担当教員の指示に従ってください。教員の連絡先は学務情報システム（KOAN）にあるシラバスで確認ができます。



【Q5】留年の判定はいつ頃わかりますか？また、留年は毎年多いのでしょうか？

【A5】4年間で卒業することができない例を、お知らせします。

- ① 学科目分属、コース分属、研究室配属が、条件を満たすことができず分属・配属できなかった場合（多くの場合は成績不良が原因です。）
- ② 休学や留学をした場合
- ③ 4年生の秋・冬学期終了時点で卒業要件単位を満たしていない場合

この例の他にも、4年間で卒業することができなくなることがあります。

- ① について学科目、コースの分属は、2年次4月、2年次10月、3年次4月のいずれかです。研究室配属についてはほとんどの学科（コース）で4年次4月に配属されます。詳しくは各学科にお問い合わせ下さい。

なお、成績が思わしくない学生についてはクラス担任を通じて個別に学生と連絡を取り、面談等により指導も行っています。

休学や留学の場合も含むため、4年を超えて在籍される方も一定の割合でおりますが、卒業要件を満たせば、卒業はいつでも可能です。

なお、学年は4年生まで自動的に上がります。

【Q6】飛び級の条件はどういったものですか？その場合、卒業研究に当たるものはありますか？

【A6】大阪大学工学部には「飛び級入試」「早期卒業制度」の2つの制度があります。

「飛び級入試」は、大学院博士前期課程の入試制度の1つです。合格すると、学部3年次生が、学部4年次をスキップし、大学院博士前期課程1年次に入学することができます。この場合、学部3年次で「退学」となるため、学士の学位は授与されず、卒業研究も行いません。

「早期卒業制度」は、電子情報工学科のみの制度です。特に優秀な成績を修めた学生が3年次に卒業研究を履修し、3年次終了時点で卒業します（学士の学位が授与され大学卒業となります）。なお、この制度は「飛び級入試」とは異なるため、飛び級入試の受験対象とはなりません。

【Q7】飛び級で大学院に進学する学生はどの程度いますか？優秀な学生が制度を利用すると思いますが、優秀な学生の定義について教えてください。

【A7】「飛び級入試」の希望者はほとんどおらず、数年間で1名程度いるかいないかです。希望する場合は、「飛び級入試」の出願前に、成績の審査を行います。この審査において、出願を希望する専攻又はコースが定める単位に相当する既修得科目（修得見込みを含む）について優れた成績で修得したものと認められた場合は、出願することができます。なお、大学院では早期修了制度を設定しており、こちらは毎年利用者があります。

【Q8】 留年と飛び級はどれくらいいるのでしょうか？

【A8】 Q5、Q6、Q7 をご参照ください。



【Q9】 留学の資料を、親元に送っていただくのは可能ですか？

【A9】 原則、教務課または工学研究科国際交流推進センターでの配布とさせていただきます。学生自身で教務課または工学研究科国際交流推進センターに申し出るよう連絡下さい。

【Q10】 留学を希望しています。大学内の相談窓口に行くとおもうのですが、親として留学のアドバイスや留学費用、大学の研究に差し障りがないのか等、サポートしたいと思います。大学の留学事情（コロナ禍での）等をお聞かせ下さい。

【A10】 大学間交換留学等の公募については、通常通り行っています。交換留学で留学する場合は、学費について、大阪大学へ授業料をお支払いいただければ、留学先の大学での授業料の支払いが不要です。但し、教材費や生活費等は自己負担です。
なお、外務省が発する感染症危険レベルが全世界で2以上となっており、海外渡航が制限を受けていますので、2020年度はオンラインプログラムでの実施が主となりました。留学のアドバイスについては、工学研究科には国際交流推進センターがあり、留学を目指す学生へアドバイス・支援を行っております。

参考 URL :

<http://www.fsao.eng.osaka-u.ac.jp/> (国際交流推進センター)

<https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/international/international/> (工学部公式サイト)



【Q11】 成績表は親に通知されますか？

【A11】 工学部では、2年生以上の学生について、年に1度6月頃に保護者の方へ成績を郵送しております。



【Q12】教職課程を履修しようと考えていますが、修士課程の進学も考えています。両立させるのは困難でしょうか？



【A12】本人の努力により、両立することは可能です。工学部を卒業した先輩は、負担を承知の上で学部の授業と両立し、4年間で卒業と教員免許取得ができています。大学が作成している教職課程ブックレットに書かれているとおり、「卒業するために必要な単位とは別に多くの授業を余分に履修」し、「(教職課程の)実習や体験も必要」なことから「教職課程を履修しない人と比べて、様々な面で負担がかなり大きい」こととなります。もしご本人が将来、中学校や高等学校の教員になりたいと強く願っておられるなら、是非1年生の時からできるだけ多く教職課程に必要な科目を履修するようお伝えください。なお、どうしても学部卒業までに教職課程の単位を取り切れなかった場合、本学大学院に引き続き進学する場合に限り、教職課程を継続し、免許を取得することも可能です。

【Q13】講義室で授業をしていると聞きました。講義室で授業を実施する理由を教えてください。



【A13】文部科学省から、大学の授業はできる限り対面授業を基本とするよう要請が来ています。これは授業効果だけでなく、学生のキャンパスでの交流を含む様々な経験を考慮しての要請となっています。大阪大学ではこのことを踏まえ、保護者説明会でご説明しました感染症対策を十分に講じた上で、対面授業を基本として実施しています。ただ、感染症に不安を抱える学生については個別に対応していますので、キャンパスライフ健康支援センターに相談するよう、ご本人に連絡下さい。(なお、自治体からの要請等で変更される場合もありますので、最新の情報は大阪大学ウェブサイトでご確認ください)

【Q14】基本対面授業とのことですが、今後新型コロナウイルス感染症が改善すれば対面授業を増やす方針でしょうか？



【A14】新型コロナウイルス感染症の状況により、大阪大学では「ウィズコロナ時代における大阪大学の活動基準の目安」を設けて運用しています。現在、講義室定員の2/3以下で授業を実施していますが、状況が改善し「ウィズコロナ時代における大阪大学の活動基準の目安」が緩和されれば制限がなくなりますので、制約によりメディア授業となっていた授業は対面授業で実施することとなります。

【Q15】基本対面授業とのことですが、1限が対面授業で、2限がメディア授業の場合、アクセスポイントとして開放されている講義室はありますか？



【A15】工学部では授業で使用していない講義室は全てアクセスポイントとして利用いただけます。充電についても、工学部にパソコン用の充電ボックスを設置していますのでご活用下さい。また、Wifiについても補強工事を実施しました。

【Q16】新型コロナ感染症に感染した場合、また濃厚接触者となった場合、授業を後から視聴、又は補講はありますか？

【A16】授業により、講義や実験、演習など対応が異なりますので、それぞれの授業担当教員に確認するよう、ご本人にお伝え下さい。なお、新型コロナ感染症の感染又は濃厚接触者に該当し授業に出席できない場合は、学校保健安全法施行規則の学校感染症と同様に配慮することとしております。

【Q17】応用理工学科の春夏学期の火曜日の必修授業で2限目情報科学、3限目統計学、4限目図学講義、5限目応用理工序論の実施場所が吹田キャンパスとなっておりますが、どうして豊中キャンパスで実施できないのでしょうか？



【A17】クラス担任をはじめとする応用理工学科の教員および上級生、大学院生は主に吹田キャンパスに居りますので、吹田キャンパスに新入生が来ることにより、教員や上級生、大学院生と話をしたり、質問をしたりすることが行い易くなります。また、応用理工学科の研究施設は吹田キャンパスにありますので、講義の合い間に見学を行う機会を設けることができます。こうしたことを通じて、専門教育へのモチベーションを高め、応用理工学科生としての帰属意識をもって貰うことを目的として、吹田キャンパスで講義を行っています。

【Q18】講義室に学生が集って、先生だけ別室からオンライン講義が開催されています。違和感を感じます。今後の改善を期待します。



【A18】先生だけが別室からオンライン講義を実施する可能性があるケースは下記の場合があります。

- ・対面授業の前後にメディア授業があるため、学生に指定の講義室を割り当て、各自のPCを用いて受講してもらうケース。
 - ・教室内でソーシャルディスタンスを保つため、2つの教室に分かれ、1つの教室で先生が講義し、もう1つの教室はその中継を見るケース。
 - ・非常事態宣言等が発表されており、遠方に居住している非常勤講師等の先生が大阪大学に来ることが難しいケース。
 - ・基礎疾患を持っている教員でやむなくオンライン講義としているケース。
- いずれの場合でも、できる限り対面授業の機会を確保するよう努めています。